

柏崎刈羽地区「外国語活動」活動報告

1 小中連携した研修の取組

柏崎刈羽地区では、柏崎市刈羽郡学校教育研究会が主体となり、柏崎市教育センター、柏崎市・刈羽村教育委員会とタイアップしながら研修に取り組んでいる。

(1) 外国語活動の授業参観

- ・6月9日（木）午後、柏崎市立剣野小学校を会場に5年生の外国語活動の授業参観を実施した。当日は、柏崎市教育委員会の英語の指導主事 山本 睦子先生を指導者として迎え、小学校から18名、中学校15名、中等教育学校1名の教員参加のもと、熱心な協議が行われた。
- ・これは毎年実施している事業であり、授業公開は小学校と中学校が1年ずつ交代で行っている。昨年度は中学校だったので、本年度は小学校が公開した。

(2) 中学校区ごとの検討・協議会

- ・全体の協議会終了後、各中学校区に別れ、昨年度の実践報告を行った後、本年度の中学校区としての取組について真剣に協議した。
- ・具体的な取組内容として次のようなことが挙げられた。
 - 各中学校区ごとに専門の指導主事を招聘し、積極的に授業参観を実施する。
 - 各小学校間及び小・中学校間のクラスルームイングリッシュを統一し、子どもたちにたちに混乱を生じさせないようにする。
 - 各小学校間で重点単元・教材を共有化する。 等

2 教師のための英会話教室の実施

夏季休業中に柏崎市教育センター主催の英会話教室が3日間開催され、小中教員も大勢参加した。3日間とも、教員のニーズに合わせたコースが用意され、柏崎刈羽に配属されているALTと前述の山本指導主事の講師のもと、楽しい研修会となった。

参加者は、指導案作成コース・初歩的な発音コース等、自分の希望のコースで熱心に取り組む、有意義な研修を行うことができた。

3 成果と課題

<成果>

- ・各種研修会を通して、教師自らやらなければならないという前向きな姿勢が感じられるようになってきたことが大きな成果である。それが自信にもつながっている。

<課題>

- ・次年度より中学校の英語の授業時数が増となるので、小学校で培った力を中学校の入門期にどうつなげていくか、今後、小・中学校のさらなる連携が求められていく。